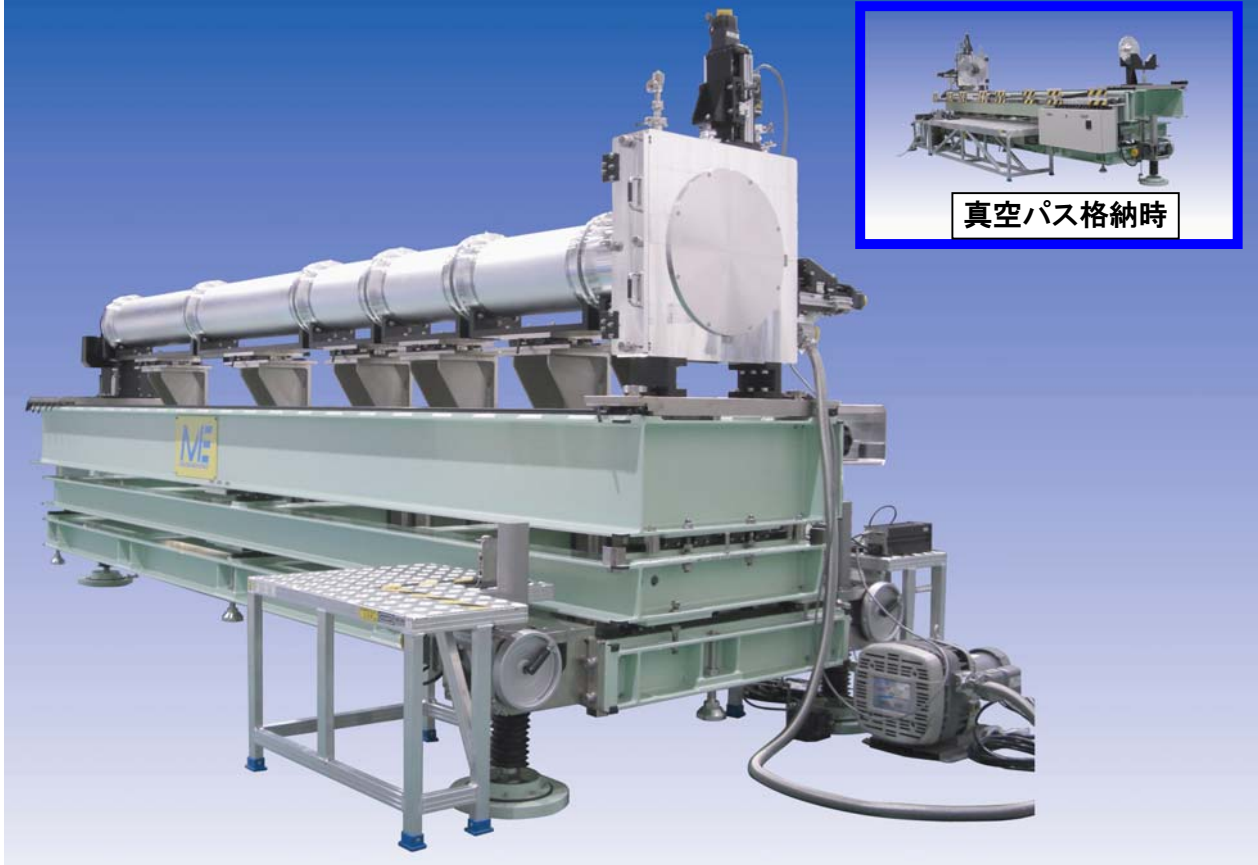


小角散乱用真空パス自動切替装置



概要 Outline

□納入先 : SPring-8 FSBL 03XU

本装置は放射光X線を用いた小角散乱実験のための測定用光学系を自動でセットアップできるように設計された装置です。

小角散乱測定は高強度のX線をサンプルに照射し、散乱されたX線のパターンからサンプルの構造を知る測定法です。サンプル内の分子により散乱されるX線は、サンプルを透過してくるダイレクトビームの極近傍に観測されていますが、ダイレクトビームと比較して強度が非常に低いため、サンプルから検出器の間の散乱X線が通過する経路を真空中に保ち減衰を防ぐ必要があります。そのため測定に際し、サンプルから検出器までの間に真空パスを設置する事が必須で、さらにこの真空パスは測定条件に合わせて長さを変更する必要があります。本装置の導入により従来大掛かりな作業が必要であった長い真空パスの設置及び交換が自動化され、小角散乱実験を飛躍的に効率化することができます。

構成 Configuration

- 架台: X線ビームに対し垂直、水平方向及び回転方向の調整機構付き
- 真空パス: 各長さの真空パス(6組)がZステージに据え付けられており、それぞれが自動昇降可能
それぞれの真空パスは降下時に架台に収納される。
- ダイレクトビームストップ: X線ビームに対し $5\mu\text{m}$ の精度で位置調整可能。
- 架台上に設置されている移動レールはピッチング・ヨーイングとも $\pm 100\mu\text{m}$ 以内におさえられ、真空パスの長さを変更した場合でも、大きなアライメント変更を必要としない。

* 本寸法・仕様は予告なしに変更する場合がありますので御使用の際にはご確認ください。

* 地域により代理店を通す場合がありますのでご了承ください。

* ご注文品はご指定場所に納入いたしますが、梱包費・運送費を申し受ける場合もございます。

* 上記標準品以外にも対応いたします。何なりとお問い合わせください。〒339-0068埼玉県さいたま市岩槻区並木2-10-10



株式会社ムサシノエンジニアリング

TEL. 048 (756) 8792 FAX. 048 (756) 8793

URL <http://www.musashino-eng.co.jp/>

E-mail info@musashino-eng.co.jp